

# 育成センターだより

令和5年度  
No. 426

長野市少年育成センター  
TEL. 228-8547  
FAX. 224-0109

## 青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月) 青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間(7月)

### 年度前半の育成活動

長野駅周辺には、交通量が多い大きな交差点がいくつもあります。その交差点で、信号待ちをしている子どもたちが交差点から離れた場所で信号待ちをしていることに気が付きました。「ああ、なるほど！」車が行き交う道路から離れて待つことが、より安全なんだと教えてくれました。

コロナ禍が落ち着き、町ゆく人はマスクをする人も減り、社会活動も普段の活動に戻ってきました。学校生活も、運動会、音楽会、運動部の大会も元氣一杯に行われるようになりました。この3年間の「新しい生活様式」は、苦しいながらも互いに守ることで、コロナの感染拡大を防ぎ、被害を減らすことにつながっていったのではないかと思います。



これから社会生活が戻る中で、途切れてしまった3年間の過程をどう修正していくのか、つなげていくのか、みんな考えてあうことを大事にしていきたいものです。

### 育成活動の重点

#### ★ 活動を楽しみましょう

コロナ禍の行動制限が緩和され、これまで制限されていたことができるようになりました。実践することを楽しみましょう。

#### ★ 甘い誘いは要注意

SNSでの甘い誘いは、要注意。相手が誰か分かりません。ネットで知り合った人に会いにいったはいけません。

#### ★ 困る前にまず相談

相談に、早すぎることはありません。困る前に、相談を忘れずに。

#### ★ 健康的な生活で心身の成長を

早寝早起き朝ごはん。ゲーム・スマホの夜更かしは心身を蝕みます。



## 「若者の自殺予防対策について」

長野市保健所健康課 課長補佐 松本 真理子

平成18年に自殺対策基本法が成立し、日本の自殺者数は3万人台から2万人台まで減りました。全体の数が減る中で、児童生徒の自殺者数は、増加し続けています。平成18年までは350人程度だった児童生徒の自殺者数は令和元年には399人まで増えました。そこにコロナ禍で悪化し、令和2年には1000人増え過去最悪の499人となりました。

厚生労働省の人口動態統計の若年層の死因は、15歳から34歳まで死因の第1位を自殺が占めています。先進国の中で、若者の自殺が死因の1位になっているのは、日本だけとなっています。

長野県の平成24年、28年までの未成年者の自殺死亡率は、全国で1位でした。現在は2位となっています。第4次長野県自殺対策推進計画では、「子ども自殺者ゼロ」を目指す戦略を打ち出し子ども自殺危機対応チームを設置しています。

長野市の平成29年から令和2年までの未成年者の平均自殺死亡率は、男性は全国を下回っています。女性は全国と同じ傾向になっています。

長野市自殺対策行動計画の中で、各世代に応じた取組の一環として、中学生に「SOSの出し方教育」を実施しており、全中学校30校中28校での取組がされているところです。「SOSの出し方教育」を受けて誰かに相談しようという勇気を出した結果、叱咤激励されると子どもたちは弱音を吐けない状況に置かれてしまいます。無理にアドバイスをする必要はなく、まずはしっかり話を聞くことが大

切です。そして、私たち大人が子どもにとって「どんな自分をさらけ出しても、安心で安全な大人である」と認識してもらう事が必要になります。

令和4年版自殺対策白書によると、小学生・中学生の自殺の原因・動機は、「家庭問題」「学校問題」が多くなっています。親子の不和、叱責、人間関係も原因のひとつです。いじめは勿論、なさなくてはいけません。自殺防止という観点では、家庭・学校・病気3つの視点が、複合的な要因で絡み合っています。そしてそのすべてに大人が関わっているということ念頭に置いておく必要があります。

自殺対策基本法改正時に学校は児童生徒に対して「自殺予防教育」を行うように努力義務化されました。自殺予防教育・SOSの出し方教育が努力義務化される中でSOSの受け止めについても同時に考えていかなければならない課題だと思っています。長野市は、「なっぴい出前講座」として本年度から小中高校生保護者を対象とした「子どものSOSに寄り添うために」の講座も設けています。ぜひこれらも活用ください。

「誰もおいこまれることのない社会の実現」に向けそれぞれが当事者意識をもち目の前の問題から確実に解決し自殺を防いでいきたいと考えています。

#### 参考文献

- 「人口動態統計」令和4年度版自殺対策白書
- 「自殺の統計」地域における自殺の基礎資料」厚生労働省
- 「教師にできる自殺予防」子ども自殺の現状と予防」子ども自殺の動向と自殺予防」高橋 聡美

子育て支援に関する新たな取り組み

長野市こども未来部子育て家庭福祉課長 宮下卓朗

子どもに関わるあらゆる相談にワンストップで対応し、相談の内容により関係部署・機関との連携の調整・つなぎ役を担う、「こども総合支援センター」を令和4年4月に開設いたしました。場所は、市役所第一庁舎5階で、パステル調の優しい雰囲気、壁面装飾の相談室や授乳室のほか、市産材を使用した遊び場を備え、子どもを遊ばせながら安心して相談や手続きができます。このセンターを多くの皆様にご活用していただくとともに、身近な相談窓口となるよう、市内の小中学生から愛称を募集したところ、820件の応募があり、その中から『あのえっと』に決定させていただきました。

『あのえっと』では、こども未来部の「こども相談室」が行っていた、子どもに関する相談のほかに、教育委員会事務局の「教育センター」が行う学校関係の相談（いじめ・不登校等）にも対応するため、相談にあたる職員

ひとりでもなやまないで 相談してね 子どもにかかわるなやみ事へのワンストップ相談窓口 長野市こども総合支援センター 「あのえっと」 0120-783-041 026-224-9746 (平日)午前8:30~午後5:15



あのえっと 長野市こども総合支援センター

も、これまでの保健師、保育士、発達相談員に、指導主事や公認心理師を加え体制を強化するとともに、学校教育課の「いじめ・不登校等」を担当する指導主事を『あのえっと』併任としております。

令和4年度の相談件数は1203件あり、保護者からの電話での相談が最も多くなっております。相談内容では、「育児に関すること」が一番多く、次いで「発達に関すること」、「学校生活に関すること」の順になっております。その他、きょうだいの、家族に関する相談もありました。

なお、1203件の相談のうち367件につきましては関係機関と情報共有、連携支援等を行っております。

子ども本人からの相談につきましては、学校で児童・生徒に貸与しているタブレットから匿名で相談ができるようになり、チラシ等で周知したりしておりますが、件数は少ない状

令和4年度「あのえっと」の相談実績

(相談件数)

Table with 5 columns: 相談の方法, 電話, 面談, メール, 合計. Rows: 件数 (1,099, 93, 11, 1,203), 連携数 (325, 34, 8, 367)

(相談者の内容)

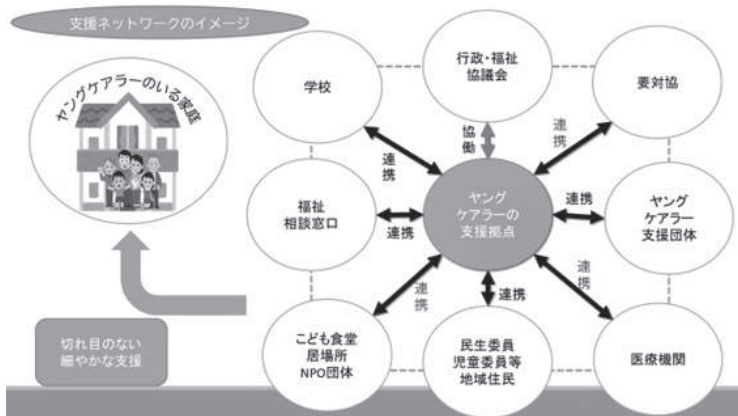
Table with 10 columns: 分類, 育児, 発達, 不登校, 虐待, いじめ, 食・健康, 家族, 学校, 幼・保育園, その他, 合計. Row: 件数 (157, 142, 98, 16, 14, 29, 63, 132, 56, 496, 1,203)

況となつてきていることから、さらに周知にも注力していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。今後も、関係の皆様と連携させていただきながら、相談者に寄り添った切れ目のない細やかな支援を行ってまいります。

次に、「ヤングケアラー」への支援についての、子育て家庭福祉課の取り組みです。

長野市では、年齢を区切ることなく、ケアを担う子どもや若い世代のケアラーを支援する必要があると考え、「子ども・若者ケアラー」という用語を用い、おむね30歳代までの若者を支援の対象としております。

今年度から相談・支援窓口を設置し、ヤングケアラーコーディネーター2名で対応しております。



また、社会的認知度の向上を図るための施策や関係機関との支援ネットワークを構築すること併せ、小・中・高校生を中心に幅広く悩みや経験を共有したり、情報交換などができたりする交流の場づくりを計画しており、そのような集まりの中などでヤングケアラーを発見し、必要に応じ支援に繋げていきたいと考えております。今後もチルドレンファーストの視点で子どもたちに寄り添いながら、長野市に暮らす全ての子どもたちが、生まれ育った環境に左右されることがなく、前向きな気持ちで夢と希望を持って成長できるよう、地域や社会全体で子どもと家庭を見守り応援する、温かいまちの実現を目指してまいります。

### 学校少年育成委員の活動報告（春休みの巡回指導をして）

春休みに学校少年育成委員の109名の先生方が各地区で巡回指導を行いました。子どもたちは、意外と自分の時間がある春休みですが、地域の様子はどうだったのでしょうか。学校少年育成委員の皆様には、春休み、夏休みと学区内や通学路を巡回していただいています。多くの声掛けもしていただきました。ありがとうございました。

#### 公園公共施設で

- 子どもたちがたくさん遊んでいた。帰宅時間を守るように声掛けをした。鬼ごっこをして道路まで出ていた子には指導をした。
- 不審者情報があったエリア。異状はなかった。死角になる場所があり、人もおらず、待合所や駐車場、トイレにゴミはなかった。生垣に数本のたばこの吸い殻と空のペットボトルあり。拾って帰った。

#### コンビニ店で

- コンビニ店では、近くに塾があることなどから、子どもたちの利用が多いとのこと。保護者同伴であったり、グループで来ても別会計だったりするなどマナーを守る姿があると教えていただいた。

#### 大型店で

- 生徒が登校してくる通学経路内にあ

る店舗なので、本校に限らず多くの学生が利用していた。制服を着ている本校の生徒に声をかけたが、特に気になる点はなかった。

#### カラオケ店で

- 中学生の自転車が3台駐輪場において、番号を控えて連絡をした。

#### ゲームセンターで

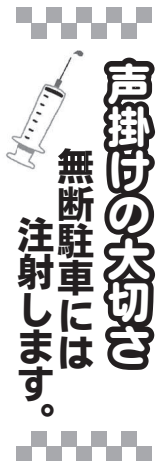
- 子どもだけで来てゲームをしているように感じる小学校高学年らしき3人に声をかけてみると「お母さんがいる」という返答があったが、それらしき人は見当たらなかった。子どもだけで入店している様子であった。学校を聞こうとしたが出て行ってしまった。

#### 交番で

- 中学生は、ヘルメットをかごに入れてる姿があり、確実にかぶるように指導をお願いしたい。
- 小学校区で、横断歩道で朝の交通指導を年間通して行う保護者の皆さんに感謝しています。

#### 気が付いたこと

- 去年に比べ、児童だけで来店するようになった。保護者の金銭管理に対する意識と、児童の規範意識が低くなっていることを感じる。



「万引きは犯罪です」といってしまふとその通りです。しかし、そこに人の心をゆり動かす言葉があったら、もっと万引きは減るような気がします。先日、ある歯医者さんの駐車場に「無断駐車者には注射をします」というフレーズがありました。これを見て思わず「なるほど」と思ったと同時に、注射の意味を考えると怖くなりましたが、おそらくこのフレーズにユーモアを感じて無断で駐車する人はいなくなるような気がしました。

また、コンビニの店舗によっては「いらっしやいませ、こんにちは」と店員さんがあいさつしてくれませんが、あまり意味のある発話行為とは思えないでいました。ところがこれには意味がありました。「いらっしやいませ」と声を掛けることで、「客として店員に注目されている」とする認識を持たせるのだとのこと。「注目されている」と思うとその客は万引をしなくなる心理的効果と思われれます。「お客様に不愉快な思いをさせないように」という配慮と合わせ「声かけ」行為の深さを考えさせられます。

ともかく、万引き防止のための大切な共通点は、「声をかける」です。私たちは巡視の実践を通して「愛」と「ユーモア」の心を添えて声掛けをすることで、より歯止めがかけられるよう努力していきたいと思えます。

### 少年相談専門委員の委嘱

令和5年度

度の委員が決まりました。これからは、各学校が取り組んでいる生徒指導事例を持ち寄り、意見交換や協議を重ね、少年相談が果たす役割とあり方を探り、生徒指導力や生徒理解力を互いに磨き合っていきます。



少年相談専門委員委嘱式

現在も課題や困難を抱えている児童や生徒に対しては、各校での対応の仕方や支援体制の構築、職員研修の持ち方、専門機関との連携のあり方などについても意見交換し、幅広い支援を考えていきます。年間5回を予定しています。また、コロナ禍でできなかった関係機関への訪問も考えています。

- 委員長 早津 雅寛（戸隠中）
- 副委員長 越野 敦子（川田小）
- 委員 三宅 貴子（城東小）
- 委員 大塚 浩文（下水鮑小）
- 委員 吉原 史泰（西部中）
- 委員 岩井 正一（更北中）
- 委員 肥留間 淳也（市立長野高校）

# 長野市少年育成センターの紹介

長野市少年育成センターでは、「青少年健全育成宣言都市」の精神を基底に、青少年の非行・犯罪被害の防止と健全育成にむけて取り組んでいます。

## ○巡回指導活動

少年育成センター職員による巡回指導（中心街、地区巡回、夜間）や一日少年育成委員の巡回指導、学校少年育成委員の巡回指導と住民自治協議会による巡回指導を支援します。



ゲームセンターでの入場制限表示

## ○環境浄化活動

青少年に悪影響を及ぼす有害な環境について、巡回活動を通して点検・指導をします。

## ○少年相談活動

本人や家庭、学校や地域から寄せられる青少年の悩みや非行・犯罪被害、生活上の問題に関する相談を受け付け対応します。

## ○長野市青少年保護育成条例に関すること

書店、DVDレンタル販売店、コンビニ店等へ立入調査を行います。



コンビニ店には多種多様の雑誌が置かれています。

## ○広報・啓発活動

育成センターだよりの発行、中心街巡回指導体験（一日少年育成委員）の実施、インターネットやSNSに起因する青少年による犯罪・被害防止のための出前講座等を行います。

## ○研修活動等

- ・巡回指導活動・環境浄化活動に関する研修会 (6月14日)
- ・生徒指導学校関係者合同研修会 小学校 (7月4日)
- ・中高特別支援学校 (6月30日)

## ○関係機関との連携

各地区の青少年健全育成委員や関係者、学校少年育成委員、学校PTA、公的専門機関と情報共有する場を設けて、青少年健全育成に向け横の連携を深めています。

# 一日少年育成委員募集

一日少年育成委員は、長野駅周辺市街地を巡回し、子どもたちへの声掛けの体験等を行います。毎年、小学校、中学校、高校のPTAの方々に参加していただいています。コロナ禍であったため、巡回の回数を制限しましたが、今年は4回の回数を制限しませんでした。長野駅前のカラオケボックス、ゲームセンター、アニメやカード販売の店舗などを巡回し、駅前交番で警察官の方から現在の青少年の様子や犯罪等について話を聞いてきます。市民の皆様からの希望者も大歓迎です。



長野駅前交番で話を聞く

一日	7月1日(土)	9月2日(土)
二時	10月7日(土)	11月11日(土)
三	13時30分～16時30分	
申込方法	参加希望者は、希望日一週間前までに少年育成センターまで、はがき、電話、ファックス、メールでお申し込みください。詳細は、少年育成センターホームページをご覧ください。	

# 少年相談

長野市少年育成センターでは、子どもの非行問題や生活に関する相談を受けています。「どこへ電話したらいいかわからずに電話しました」と保護者の方や祖父母の方からも相談電話がありました。最近では、ネットトラブル、ゲーム依存にかかわる相談が増えていきます。お気軽に連絡をください。来所相談も受け付けています。

## 相談窓口 少年育成センター

電話 2288-8588

月～金曜日 8時30分～17時15分

※匿名でのご用です

今年は、次の5人で運営します。よろしくお願ひします。

- (所長) 市川専一郎
- (課長補佐兼所長補佐) 古平 京子
- (主任指導主事) 小林 寛二
- (指導主事) 中澤 毅一
- (事務員) 山田みゆき



## 編集後記

コロナ禍の行動制限が緩和され、顔を突き合わせて活動する楽しさが戻ってきました。エチケット、マナーを忘れず活動していきましょう、今年一年よろしくお願ひします。